



春水作
團芳

三篇下

特別
~13
4271
6



かみと侍

三篇上

特別
~13
4271
5

仁五申新





か
ぬ
と
し
犬
侍

仁
五
申
新
石

三
篇
上

特 別
へ13
4271
5

八三
4271
5

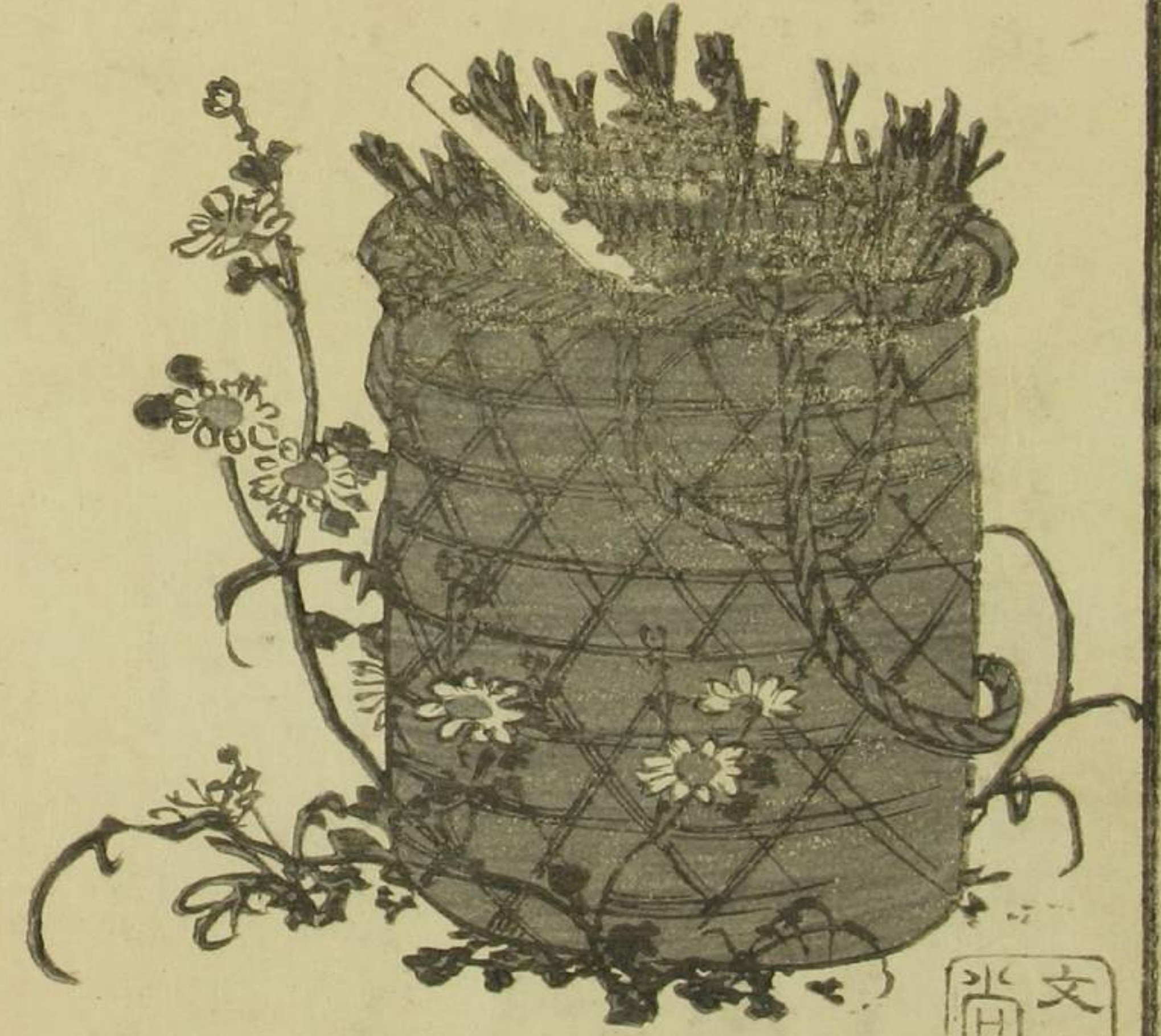
假名讀

八犬傳

三編

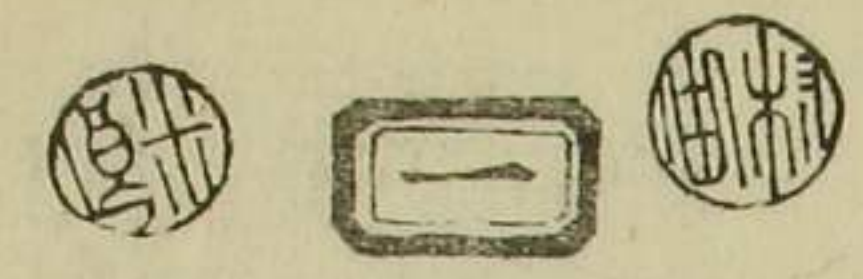
春水作

國芳画



文澤
水田

91-2248



原傳第士面伏姫富山入る及びて其身八犬ノ穢され法華經の
 威力より入る房も其欲を忘れ多讀經は舌を耳をすし如入歸の
 友と好むを終は菩提心發せしより相感おると等しむ胎ノ實
 味深長めと實は這冊子に大面目といふゆ一予が此假字讀大傳
 欲する處一筋は婦幼の憂は媚る我のて唯捷徑を肯とまなれ具
 眼の八朝りて龍宮の門護て海月ある物と是も又骨ぬれ策
 子と言ひぬやせんこれに遺憾あるゆゑと兎園は大象の遊ばせり
 作者は苦心又知るべし噫余も多思痴多る益ぬ淳言やまのく

弘化五年戊申春正月吉旦開鐫
 柳北釣夫春水述

八犬傳三編



節婦
濱路



法師

浪客
網乾
九文
二郎



小
實
大
川
莊
助
義
任

龜
毒
篠
婦



大
塚
莊
官
基
六

八
大
傳
三
糸



この挿絵は、主人公の死後、その遺体を発見した人物の姿を写している。黒い着物を着た男が、剣を手に、死んだかと思われる女を前に見つめている。背景には草や木が描かれている。

この挿絵は、主人公の死後、その遺体を発見した人物の姿を写している。黒い着物を着た男が、剣を手に、死んだかと思われる女を前に見つめている。背景には草や木が描かれている。

この挿絵は、主人公の死後、その遺体を発見した人物の姿を写している。黒い着物を着た男が、剣を手に、死んだかと思われる女を前に見つめている。背景には草や木が描かれている。

この挿絵は、主人公の死後、その遺体を発見した人物の姿を写している。黒い着物を着た男が、剣を手に、死んだかと思われる女を前に見つめている。背景には草や木が描かれている。



この挿絵は、主人公の死後、その遺体を発見した人物の姿を写している。黒い着物を着た男が、剣を手に、死んだかと思われる女を前に見つめている。背景には草や木が描かれている。

この挿絵は、主人公の死後、その遺体を発見した人物の姿を写している。黒い着物を着た男が、剣を手に、死んだかと思われる女を前に見つめている。背景には草や木が描かれている。

この挿絵は、主人公の死後、その遺体を発見した人物の姿を写している。黒い着物を着た男が、剣を手に、死んだかと思われる女を前に見つめている。背景には草や木が描かれている。

この挿絵は、主人公の死後、その遺体を発見した人物の姿を写している。黒い着物を着た男が、剣を手に、死んだかと思われる女を前に見つめている。背景には草や木が描かれている。

Handwritten text in the top section of the right page, consisting of several lines of vertical script.

Handwritten text in the middle section of the right page, continuing the vertical script.

Handwritten text in the bottom section of the right page, featuring a large circular diagram with the character '仁' (Jin) at the top and '義' (Gi) at the bottom, surrounded by smaller characters and notes.

Handwritten text in the top section of the left page, consisting of several lines of vertical script.

Handwritten text in the middle section of the left page, continuing the vertical script.

Handwritten text in the bottom section of the left page, featuring a large circular diagram with the character '信' (Shin) at the top and '智' (Chi) at the bottom, surrounded by smaller characters and notes.





春水作
國芳画



三篇下

特別
~13
4271
6







つぎあつて百二十の行中...
あつねはそのまうちくま...
ひこそせむさうのあや...
えんをふけりうも日の...
をさうのうふひるひ...
いそくむさうのあつ...
あつねはそのまうちく...
あつねはそのまうちく...
あつねはそのまうちく...
あつねはそのまうちく...

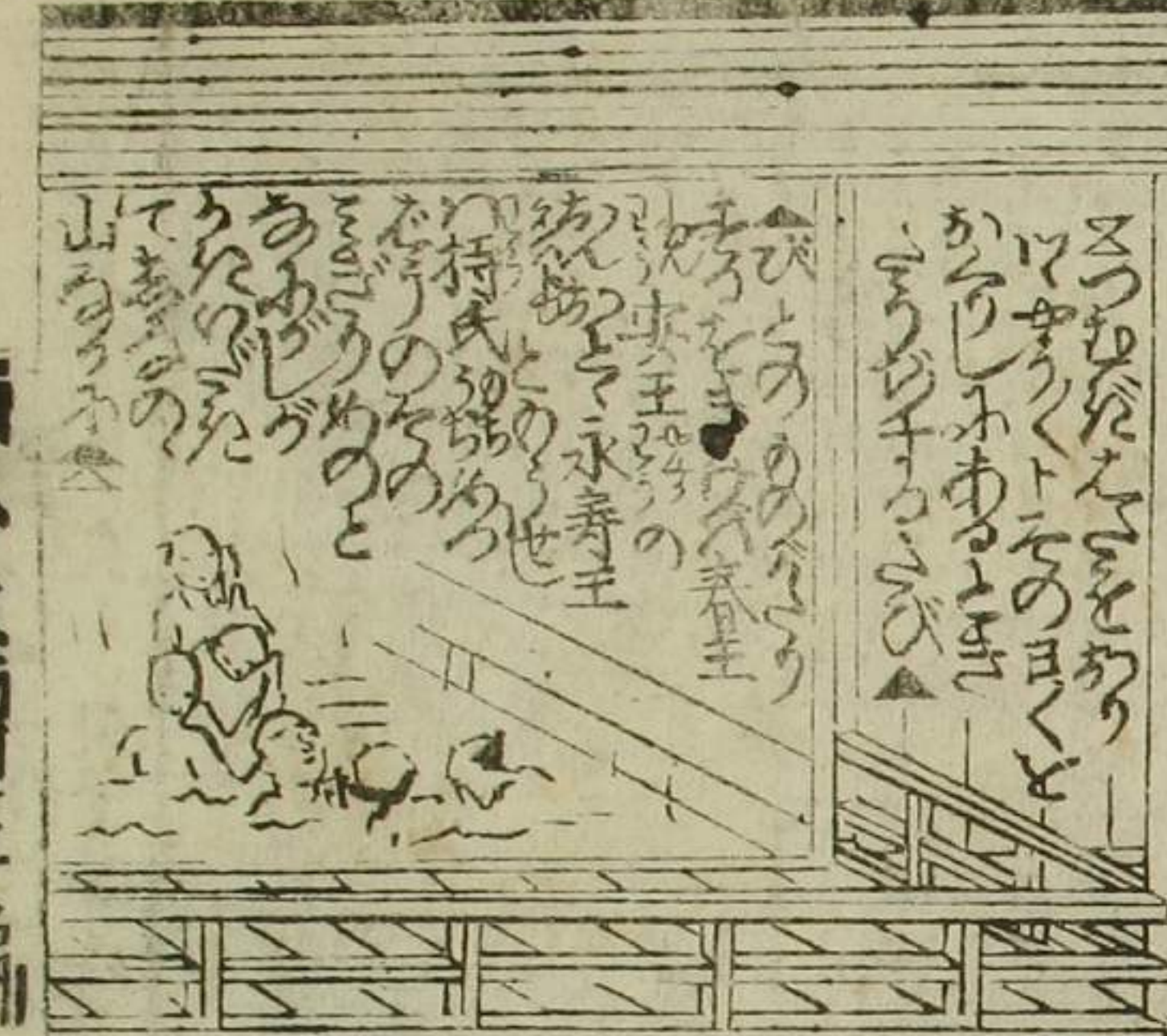


あつねはそのまうちく...
あつねはそのまうちく...
あつねはそのまうちく...
あつねはそのまうちく...

村雨...
成氏...
あつねはそのまうちく...
あつねはそのまうちく...
あつねはそのまうちく...
あつねはそのまうちく...

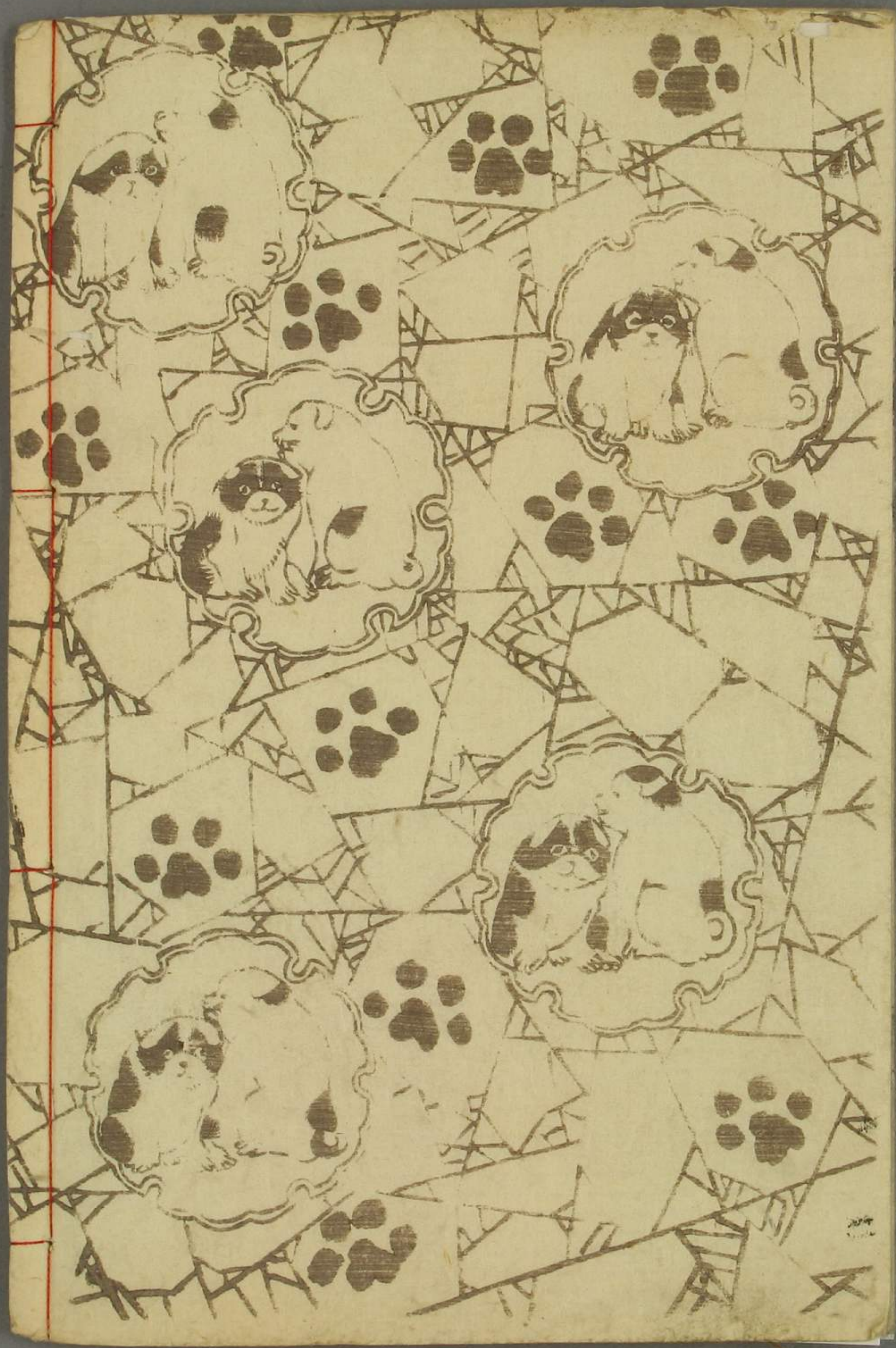
およびけつ...
およびけつ...
およびけつ...
およびけつ...

永寿主...
左兵衛...
成氏...
成氏...



山...

あつねはそのまうちく...
あつねはそのまうちく...
あつねはそのまうちく...
あつねはそのまうちく...



あねとみ

犬侍

三編上下

元本曲言の

春水作

園芳画

弘化五喜

新板



文澤堂